



ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会

第 16 号

Jan.2004

Osaka Environmental Counselors Association, Nonprofit Organization

年頭に当りご挨拶

理事長 高井 茂

新年明けましておめでとうございます。

本年も健康で明るいNPO活動を楽しみましょう。

OECAは今年で満5年を過ぎ6年目の活動に入ります。その5年は、私自身NPO活動の何かも知らずに勉強の毎日でしたが、曲がりなりにも順調な運営が出来ましたことは偏に会員の皆様の力強いご支援、ご協力によるもので、紙面をお借りして、心よりお礼申し上げます。

さて、今年は「申」年です。私は6回目の年男になりました。

申年を振り返ると、よく戦争がおき、また、申年生まれは軽率にことを決める大きな欠点があるといわれています。

このようなことを肝に銘じて、争いのない、軽率に走らず、皆様のご意見を良く聞いてOECAの運営に当たりたいと思います。

申年を迎えて、原点に立ち返り心機一転です。

本年も宜しくご指導ご鞭撻をお願いいたします。



「環境フェスティバル21」にて北理事と

環境教育指導者養成セミナー開催

環境教育推進法が15年10月1日に施行され、環境教育指導者の養成がより一層求められることとなったこの機会にOECAは、環境事業団の支援と大阪府の後援を得て、環境カウンセラー全国連合会(ECU)と共催で、環境教育指導者養成セミナーをH15年12月6日(土)大阪府中央区大手前の国民公会館で開催した。当日は師走の多忙の中にも拘らず遠くは沖縄、九州を始め、西日本各地の環境カウンセラー、地方自治体、婦人団体、自然保護団体、各種環境団体、ボランティア団体と広範囲の方々の参加で200名収容の大ホールは一杯になった。



開会挨拶はOECA高井理事長が環境教育指導者養成の推進への決意を語った後、環境省近畿地区環境対策調査官事務所の堺治久所長より力強いご支援の挨拶があった。

引き続き、プログラムに沿って、前・環境省・浅野室長の新法の内容の紹介と、ECU・先崎理事長からは「今後の環境教育に及ぼす効果」に関する最新情報が解説され、京都女子大学・植村教授(写真)からは欧州の事例を交えた「環境教育のすすめ方」の講演が続いた。



午後からはまず、三重県環境学習センター矢口環境学習推進員から「コミュニケーション能力の向上」として全国の先端を行く“環境学習情報センター”の概要と事業の紹介、推進員自身の実践活動、指導者の育成について講演があった。

学校教育については「地球温暖化実験教室」の内容と実験機材を紹介しながらOEC Aの谷理事が、自然系の市民教育については滋賀環境カウンセラー協会・今村教育部長が地元滋賀に根ざした長浜市公園町に於ける「朽木いきものふれあいの里とカツラの巨木探検」の紹介があり、生活系の市民教育ではOEC Aの伊達理事が地球温暖化防止活動に於ける「なにわエコライフ（環境家計簿）」大阪市、「脱温暖化ライフ推進モデル事業」大阪市西淀川区の活動報告、環境情報については、大松土建(株)の外池編集長がミニコミ誌「月間エコ碎石」作成の苦労話、“開かれた処分場”について語られた。

その後、学校教育、市民教育（自然系）、市民教育（生活系）、環境情報の4分野に分かれてワークショップが開催され、活発な意見交換から時間切れとなるグループもあった。最後にECU富川常務理事が挨拶された後、講師を囲んで交流会が開催された。

参加者の感想として「関西はすごい。多くの人に参加し、また、講師の講演内容もテーマにあった内容で本当に良かった」等、好評でした。

OEC A 理事 吉村孝史



司会を務める吉村理事

地球温暖化防止活動部門

さて、前号でお知らせいたしました（財）地球環境センター（GEC）から地球温暖化実験教室を受託し、今年度は平成16年3月までの予定で実施中です。大阪市、高槻市、堺市、岸和田市、有田市の小学校教育で、既に今年度の実施予定を上回る申し込みがきているため、次年度実施でお願いしている状況です。

9～12月の地球温暖化防止部門の活動状況は概略、次表の通りです。

9月18日	滋賀県野洲中学校/省エネ授業
9月19日	滋賀県甲西北中学校/省エネ授業
9月30日	大阪市旭区区民センター/環境セミナー
10月6日	高槻市立五領小学校/省エネ授業
10月7日	大阪市旭区区民センター/環境セミナー
10月15日	河内長野市/環境セミナー
10月18日	恩智川フェスティバル（東大阪、八尾、柏原市共催）
10月27日	池田市教師向け環境講座
10月28日	滋賀県野洲中学校/省エネ授業
11月2日	CASA出前講師養成講座 第2回
11月4日	阪南市立箱作小学校/実験教室
11月5日	東淀川豊里幼稚園/実験教室
11月8,9日	環境フェスティバル21/万博公園（大阪府）
11月14日	高槻市立柱本小学校/実験教室
11月15日	東大阪消費生活センター/実験教室
12月6日	環境教育指導者養成セミナー/事例発表
12月8日	岸和田市立城北小学校/実験教室
12月14日	アベノベルタ/実験教室・パネル展示



環境教育指導者養成セミナー・ワークショップにて谷、阪野理事

あべのベルタ商店街振興組合より地球温暖化実験教室を受託

天王寺の地下鉄谷町線あべの橋駅すぐ、大阪市の開発による商店、事務所、住居の大型複合施設（ビル）内にある、あべのベルタ商店街振興組合より地球温暖化実験教室とパネル展示を受託し、11月28日から12月25日までのパネル展示と12月14日（日）に2回の実験教室を実施しました。

当商店街では、大阪市と大阪府による「一商店街一国運動」の助成事業の一環として、「環境」をテーマに取り上げ「マイバッグ」（買い物袋）の無料配布と同時に空き店舗を利用した環境問題のパネル展示と地球温暖化実験教室を企画されたものです。



あべのベルタ商店街での実験教室の様子

環境をテーマにした商店街活性化案 アイデア募集

あべのベルタ商店街での「パネル展示と地球温暖化実験教室」を機会に、OECAとして環境をテーマにした商店街活性化案をまとめ、各地域の商店街に対して活性化のための提案ができないものかと考えています。下表は島林理事の活性化案の一例ですが、例えば、“空き店舗を利用した地域住民のリサイクル日曜市の開催”とか、“エコマーク商品を品揃えして、購入者に商店街クーポン券を渡す”とかなど、会員の皆様から広くアイデアを募ります。OECA事務局までドシドシお寄せください。

	事業名称	期 間	予 算	内 容 概 要	備 考
1	省エネ省ムダ事業	3～6ヶ月程度	相談	環境NPOの支援を得て、各店舗において省エネ・省ムダなどを点検し、原因を改善する。各店舗では「省エネ・省ムダ宣言書」を掲示するなど様々な事業を展開する。	商店街自身
2	省エネ省ムダキャンペーン事業	2ヶ月程度	〃	環境NPOの支援を得て、来店者へ省エネ・省ムダなどの実践をPRする。省エネ実験教室コーナーも開催。「エコバック」や環境を良くするグッズを配布するなど。	社会へ向けて発信

（地球温暖化防止活動部門 部門長 阪野喬）

環境研修会実施チーム

環境研修チームでは「環境情報プラザ」での見学会及び講演会を予定しています。

この施設は大阪府環境情報センターの一部に昨年春にオープンしたもので府民、環境NPO、などの環境学習や環境保全活動の支援を行っています。また、同センターは大気、水質、有害化学物質などの分析調査研究を行うとともに、環境に関する研究開発支援、国際技術協力など積極的に活動しています。

この施設で下記の通り見学・講演会を企画致しましたので皆様方のご参加をお待ちしています。

記

- *日 時：平成16年2月12日（木）午後1：00～5：00
- *場 所：大阪府環境情報センター及び研修室
大阪市東成区中道1丁目3番62号 TEL：06-6972-1321
- *見学会：大阪府環境情報センターの各施設見学
- *講演会：演題「燃料電池について」
講師：ニューメディカ・テック株式会社
代表取締役 前田芳聰氏
- *会 費：会員500円 非会員1000円
- *申込先：OECA FAX：06-6599-0607 長澤または、山本修巳まで。



（環境研修実施チーム・リーダー 長澤弘一郎）

なにわエコライフプロジェクト

去る11月29日、京都大学21世紀COE第3回市民講座「エネルギーと環境を考える」が大阪国際交流会館で開催され、OECA宇田副理事長が「大阪市“なにわエコライフ”への取組～市民参加による地球温暖化防止活動」をテーマに講演し、翌30日付け読売新聞でこの記事が大きく掲載され“なにわエコライフ”及び“OECAの活動”がPR出来ました。

12月13日大阪市北区民センターに於いて「なにわエコライフ地球環境保全をめざす市民行動の集い」が開催された。参加者は600名と市民の地球環境保全に対する関心の高さがうかがえました。この市民行動の集いで、OECAと共に“脱温暖化ライフ推進支援モデル事業”に取り組んだ西淀川区なにわエコライフ協議会の木村幹事が事例発表、同協議会・大成代表幹事がシンポジウムのパネリストで参加されました。この他、講演やパネル展示がありましたが、OECAは「環境家計簿のつけ方相談会」のコーナーを担当し、相談の方が多数訪れました。

次の取り組みは3月25日(木)大阪市港区民センターで、「なにわエコライフ認定フェア」が開催される予定です。皆様のご協力をお願い致します。(OECA理事 北 潤明)



カウンセリング中の北、伊達理事

TOPICS



資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)見学会・講演会報告

10月25日に「吹田市資源リサイクルセンター くるくるプラザ」の見学・講演会を開催致しましたところ、多数の方々のご参加を戴き、お礼申し上げます。

とかく環境問題は知識より行動と言われますが行動を起こすためにも「今を見る」ことが必要ではないでしょうか。昔見た人も今を見れば何か新しい発見がある筈です。環境研修チームでは「Seeing is believing」の観点より活動を続けていきたいと思っています。

環境研修実施チーム：チームリーダー 長澤弘一郎

それぞれ、工房の専門の指導員さんが、いらなくなったものを作り直すリサイクルのやり方、修理の仕方をアート感覚いっぱい教えてくれる。

質問の時、私は「この指導員さんはボランティアなのですか？」と聞いたところ、「有償のボランティアです」ということだった。長く続けて活動することは無償のボランティアには期待できない。くるくるプラザは平成4年にできて今年で11年目になるが、その頃から指導員をやっておられる方も多く、市民の方々に教えたり、話をしていく中で、それぞれの分野の研究を重ねておられた。くるくるプラザではリデュース・リユース・リサイクルの前に「いらぬものを買わないこと」が一番大切であると言う。

スーパーに行くと、冷蔵庫に何があったか？忘れてしまって、ついつい買い込んでしまう私。帰って冷蔵庫に入れようとしたらいっぱい入らない……。このごろは、いるものだけメモして、「それ以外には買わない」とスーパーに入る前は決心しているのだが……。外池恵子



布工房にて

E A 2 1 の中国に対する普及について

理事長 高井茂

一昨年の中ごろから昨年の初めにかけて E A 2 1 (環境活動評価プログラム) を中国上海に普及しようと思い、その準備をしましたが、結果的には活動の支援をお願いした J I C A (独立行政法人 国際協力機構) から認められませんでした。その概要を皆さんの今後の活動のご参考までにお知らせします。

1 : 何故 E A 2 1 なのか

平成 8 年に環境省が策定し、国内の中小企業を対象に普及を進めていたが、普及が思うようにいかず (現在で 1,000 件の登録) E A 2 1 の内容やこのシステムを普及させるための組織や運営に問題があることが各方面から指摘されていた。私もこの活動に参加したが、国のはっきりした対応や支援もなく、普及を図るには難しい状況であった。

2 : O E C A の実績

一昨々年の地球環境基金での活動は件数にして 10 件程度にとどまった。その内容は、(財)大阪府産業廃棄物協会のメンバーが主で、そのほか 3 件ほどの企業に普及が出来ただけであった。

3 : 何故中国上海なのか？

その間、実際に E A 2 1 を扱ってみて、隣国・中国のことが気になっていました。いまや世界の物の生産拠点になりつつある中国は目覚ましい経済発展をしているが、環境でも公害問題が深刻で、北京に於いてさえ、朝ひどいときは高台から故宮が見えないほどのスモッグがかかっているのを何度も体験した。中国にこの E A 2 1 を普及したらどうかとの考えはこの時はっきりした。

4 : どうするか？

O E C A は中国との関係が出来ていないこともあって、私の所属しているもう一つの団体である、「日本技術士会近畿支部」の中国研究会は永年にわたり上海市科学技術局や D 大学の O 先生とのつながりがあったので、日本技術士会が窓口になり、実施は技術士会と O E C A のメンバーで当たることにした。

5 : 資金調達

いろいろ調査・検討・訪問するなどし、J I C A の草の根資金が最適との判断となった。

6 : プロジェクト虹橋

計画立案・英文翻訳・中国との折衝、J I C A との連絡を行うために、「プロジェクト虹橋」を作り進めた。優秀なプロジェクトで、ことはスムーズに進み、J I C A への申請も出来、その後の J I C A の評価もよく、北京 J I C A、北京の日本外務省も好感を示し、最後の段階までは確実に実施の方向で進んでいたが、最後の結論が遅いので、東京 J I C A 本部に出向き、担当課長にお会いして様子を伺ったところ、以外にも否定的な回答でした。「より緊急度の高い草の根事業 (明日の食料・衣料・医療が必要な) が多くあり、このプロジェクトまで支援できない」との結論であった。

7 : その後の対応

私はすぐに計画中止の処理の為に上海に行き、ご支援をいただいた方々に計画の取りやめとなった経過を説明し、理解をいただいた。

今後は、民間の助成とした方が良いのか、J I C A の技術支援で行うかを検討して行きます。

近い将来、国と国での話が進むことも十分考えられると思われませんが、私の活動は少し早かったのかもかもしれません。

O E C A 事務所の紹介

当協会の事務所が福島区の NPO センターから現在の港区 pia NPO ビルに移り早 1 年が過ぎました、当初は荷物や書類、通信機器で煩雑して、置く場所も一定せず整備されませんでした。9 月頃より通信機器 (新パソコン、F A X) 整理棚の導入などにより事務所機能を強化、整備してきました。piaNPO 内にはコピー、印刷、紙折機等使用可能 (有料) の他、貸し会議室もあります。又、内外に迅速な対応が出来る事務体制の強化をすすめ、月、金曜日が森、火曜が丸一、水曜が北、一戸、木曜が藤井、飯田さん等が事務所に出ています。事務所近くには、海遊館、サントリーミュージアムなどがありますので、皆さん、ぜひ O E C A 事務所にお立ち寄りください。地下鉄・大阪港駅から徒歩 5 分です。 (事務局)



(写真上は事務所で執務中の森さん、下は piaNPO ビル・同 HP より)

イベント・ダイジェスト

昨年9月から12月まで各種イベントが相次ぎ、前頁で紹介できなかったものの概要をまとめてみました。

9月24日(水)「新エコアクション21セミナー」
“エコアクション21の認証登録制度について”環境省川野課長補佐等によるセミナーを(社)大阪府経営合理化協会 環境ビジネス研究会、(財)オイスカ環境 ISO 部会、滋賀環境カウンセラー協会と企画・主催し大阪府商工会館で開催した。

11月2～3日 ワンワールド・フェスティバル
“見て、聞いて、体験して、理解する、国際協力のお祭り” ONE WORLD FESTIVAL が大阪国際交流センターで開催され実験教室、パネル展示で地球温暖化防止のアピールを行った。

11月8～9日 環境フェスティバル21 万博公園で「環境にやさしい社会をつくろう」をテーマに、OECAは、各種パネル、地球温暖化防止実験教室の機材の展示等により活動の内容を紹介する他、燃料電池の仕組みを模型で分かり易く説明、地球温暖化防止をアピールした。また、北瀬明理事による大台ヶ原のトウヒ林の破壊が進んでいる様子を写真で紹介し、訪れた人達はリアルな写真に見入っていた。

コミュニティプラザ(大阪環境カウンセラー協会会員の掲示板)

前号の「道頓堀川を飛び込める川にしよう！」に対し、大阪市環境局の阪神ファンの方より、次のコメントがありました。

「下水道事業計画は：大阪市環境局

<http://www.city.osaka.jp/toshikankyo/contents/jigyuu/hozen/> をご参照下さい。

また、ご意見は：意見箱

<http://www.city.osaka.jp/toshikankyo/contents/iken/iken.htm>

をお願いします。」ということでした。



12月22日 環境カウンセラー協会近畿連合会開催。EA21が平成16年度より改訂版が策定されることから、近畿地区での普及活動について、滋賀、兵庫、奈良及び大阪環境カウンセラー協会と以下について協議した。

- ・EA21の普及のための組織は近畿の環境カウンセラー協会が協力してつくる。
- ・その間、準備事務局は大阪環境カウンセラー協会に置く。
- ・準備事務局は当面、OECA「EA21導入チーム(チームリーダー大畑理事)」が行う。
- ・次回まで事業企画案を作る。

編集後記： 明けましておめでとうございます。

環境カウンセラー登録制度実施規程の改正は前号でお知らせ致しましたが、環境教育推進法がH15年10月1日に施行され、環境教育指導者の養成が求められることとなり、また、EA21(環境活動評価プログラム)も平成16年度より審査登録制度取り入れ、内容をグレードアップすることということで、あわただしくなってきた感じがします。この種の情報をいち早く会員の皆様にお伝えしたいと思いますので、情報の提供をお願いいたします。

住所、メールアドレスの変更は事務所へFAX又はハガキ等でご連絡下さい。また、ニュースレターに対するご意見、投稿(活動の様子等、特に自然系歓迎です。)お待ちしております。(中島記)

(このニュースレターは再生紙を使用しています)

発行者：NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会

住 所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24
piaNPO 411号

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607 e-mail: info@osaka-eca.org <http://www.osaka-eca.org/>

発行人:高井 茂

編 集:中島延雄

